

新株発行、6億

ワールドロジ

ナカノ商会も出

澤宏社長、江戸川区)が割当先となった、と発表した。新株発行による資金調達に6億円で、プリン企業再生投資が22万4216株、ナカノ商会は4万4843株を受け持つ。6月25日に実施する。資金の使徒は、借入金返済2億5000万円、運転資金1億5300万円、滞留中の未払税金及び預かり金などの支払いに1億6000万円をそれぞれ充てる。

AGIからは、事業資金のファイナンス、経営・財務戦略の立案などで支援・

援助を受けていた。また、ナカノ商会とは輸配送などで取引関係にある。ナカノ商会は「シナジー効果が期待できる」(沼澤社長)として出資を引き受けた。

現在、ワールド・ロジは

ナカノ商会

沼澤



福岡地区で2年前くらいからワールド・ロジと取引しており、社員教育と計数管理は特にレベルが高いと認識していた。生産性が当

大きなシナジー教育などレ

不安が払しょくされる。40億〜50億円は上積みできる。収益性は当然だが、雇用2人を大切に企業理念に相通じるものがあつたのも大きい。従業員が背中を押し最大理由かも知れない。(沢田 顕嗣)

事業再生ADR(裁判以外の紛争解決)手続きの下で再建に取り組んでいる。2012年6月期の連結売上高は前期比15%減の56億800万円、最終損益は61億9000万円の赤字を計上

し、58億8500万円の債務超過となった。今回の第三者割当による新株式の発行は、6月中旬に開催予定の事業再生ADR手続きにおける債権者会で第3位の大株主となる見通し。(高木 明)

EOI最高経営責任者、京都千代田区)は18日、月末に竣工した厚木物流センター(神奈川県厚木市の開所式を行った。特定業向け(BTS)施設でSBSグループの日本レドセンター(片野浩一長、同市)が長期賃借D、DVD、ゲームソフトなどの多品種少量商品の庫管理や出荷作業を行う5月7日から本稼働する。東名高速道路・厚木インターチェンジ(IC)から8分に位置し、国道41号、129号にも隣接す

「J-REIT(日本の不動産投資信託)は年末・年始だけで3銘柄が上場した。物流不動産への投資意欲は非常に強いが、土地や建築費の上昇により1年後に需給ミスマッチが起こる可能性がある」と。物流不動産の仲介・管理事業を展開しているディールエージェント(東京都中央区)の榎西(かじにし)一太社長は、過熱気味のマーケットに対する懸念を口にしている。

(沢田 顕嗣)

「物流施設開発は成功率が高い、失敗が非常に少ない」。プレーヤーを①当初から参入した事業者②旧財閥系の事業者③再参入した事業者——に分類した上で、「各社がこぞって土地をどんどん購入しており、築コストも東日本大震災を

ディールエージェント社長

榎西 一太氏



適正な市場バランス重要

アップが旺盛な需要に水を差しかねないと危惧する。老朽化した従来型の倉庫は「今の賃料水準は底値から最大で2割アップしている」。自身の相場観に照らすと、来年以降に市場に投入される高コストで開発さ

契機に2、3割は上がっている。ただ、サブライチェイン・マネジメント(SCM)へのシフトが急速に進む中、「各階に接車バースを備えるマルチテナント型の大型物流施設へのニーズは高い」と見ており、賃料のアップが旺盛な需要に水を差しかねないと危惧する。老朽化した従来型の倉庫は「今の賃料水準は底値から最大で2割アップしている」。自身の相場観に照らすと、来年以降に市場に投入される高コストで開発さ

加熱する投資を懸念

「リテナントの支援でも存言える」。リーシング営業で培った人脈を動員し、600平方メートル、9900平方メートルの需給ニーズをマッチングさせたい」と意気込む。

